

Vol. 24

2022.December

高知県  
安田町  
故郷便り

Enjoy  
Country Life  
Yasuda Town  
MANMA

ま  
ん  
ま



# 「対話と協働」で 住民の声を聞き、 高齢者に寄り添った町へ

地域が期待する「阿南安芸自動車道(安田～安芸)」の事業化や

Aコープの閉店による地域や行政の対応、

高齢化が進んでいく中で「住み慣れた土地で普通の生活を営むため」に

町が取り組んでいることなど、多岐にわたって伺いました。

コロナ禍が落ち着き、安田町出身者が帰郷した際には、新鮮な空気を体内に取り入れて、安田町を満喫してください。リニューアルした庁舎にも来いただき、皆さんと会えることを楽しみにしています。



安田町長  
**黒岩 之浩**  
Kuroiwa Yukihiro

利便性が良くなり、交流人口の拡大にも大いに期待が持てます。また自然災害等で国道55号が通行止めになった場合にも対応する「命の道」にもなります。関西圏をはじめ県外に暮らす町の出身者も徳島まわりで帰郷できるようになります。

高齢化が進む中で、町内でも独居の方が増えています。そんな現状の中では、お年寄りの想いを聞くなど住民に寄り添うしかないという思いから、「対話と協働」を合言葉に町職員33名を7班にわけて、兼務になりますが地域へ配置しました。そこで各集会所でコミュニケーションを取り、そこに来られない方にはお宅まで伺つて話を聞きます。これは職員の資質向上にもなります。

低額で利用できるコミュニティバスやデマンドタクシー、移動販売、保健師らの戸別訪問など、住み慣れた土地で普通の生活を営めるよ

## 地域の声を聞き逃さない

う、お年寄りがずっと住み続けることができるための施策を行っています。また住民からの意見を参考にしながら、中山間地域が元気になるようにしたいと常に考えています。

中山地区にある「Aコープ」が今年の3月末で閉鎖になることは直前まで知りませんでした。地元のスーパーの機能を持つたお店だったので、それを担ってくれる場所はないかと各方面に相談して、「味工房じねん」をはじめ多くの声が届きました。

安田「土佐の元氣市」は安田エリアに移動販売を実施していたので、それを中山地区まで広げてもらえるよう交渉して、行政はその支援をしました。

## Contents

### 01 安田町長インタビュー

安田町トピックス 安田のミライ

03 集落活動センターなかやまの新たな活動拠点

安田町多目的交流センターなかやま

安田町中山地区、移動販売の取り組み

### 07 安田びと

味工房じねんの皆さん

中里女性部の皆さん

服部農園三代目 服部 栄文さん

### 13 あんたろう奮闘記!

## 念願の事業化が決定

## 迅速な対応で暮らしを守る

国土交通省から令和4年度予算が発表され、「阿南安芸自動車道(安田～安芸)」が正式に事業化されました。これは国への要望活動をはじめ先人たちの努力、積み重ねがあつてこそ実現でき、感謝しかありません。まだ完成までには10年以上かかると思いますが、四国8の字ネットワークが整備され、自動車道がつながることで住民生活の

利便性が良くなり、交流人口の拡大にも大いに期待が持てます。また自然災害等で国道55号が通行止めになった場合にも対応する「命の道」にもなります。関西圏をはじめ県外に暮らす町の出身者も徳島まわりで帰郷できるようになります。

中山地区にある「Aコープ」が今年の3月末で閉鎖になることは直前まで知りませんでした。地元のスーパーの機能を持つたお店だったので、それを担ってくれる場所はないかと各方面に相談して、「味工房じねん」をはじめ多くの声が届きました。

安田「土佐の元氣市」は安田エリアに移動販売を実施していたので、それを中山地区まで広げてもらえるよう交渉して、行政はその支援をしました。



教室や理科室、クロマキー撮影スタジオなど、多様なスタジオが用意されています。

## 安田町多目的交流センターなかやまの 新たな活動拠点

### 集落活動センターなかやまの 安田町多目的交流センターなかやま

県内外からの多様な交流が期待できる映像村や  
大学サテライト教室、介護サービスなどの機能を追加し、  
中山地区を元気にする施設が  
リニューアル・オープンしました。



旧中山小中学校を活用した集落活動センターなかやまの施設内に、映像村エリア、大学連携施設、民間事業者が運営する看護小規模多機能エリアなどが同居し、新しく「安田町多目的交流センターなかやま」にリニューアル・オープンしました。同施設の管理運営をする町役場中山支所長の西岡正貴さんと、(株)東京映画社社長で、この映像村の運営に全面的に協力している日々立夫さんに話を伺いました。

注目を集める映像村には、防音設備を整えた録音スタジオや学校教室、実験室、クロマキー(特撮撮影室)をはじめ、スタッフが宿泊する

ドミニトリーもあります。百々さんは、「安田町には海、川、山の素敵な撮影ポイントが多くあり、移動距離も短いです。ただこれまでスタジオを使つたちよつとしたものを撮りたいた時にできなかつた。それが解消されたので、制作会社に広がつていきましたよ。町も関わり、格安で使用できるスタジオができたことで、全国の映画やテレビ、映像スチール等の制作会社に活用してもらい、交流人口が増えることにつなげたいです」と話します。また制作会社が東京や大阪に集中する現状では、映像の仕事に就くためには町外へ出ないといけない中、映像村ができることで起業する若者が出現する可

能性を語り、「そういう若者たちがここで根づいて仕事をしていくれば、その子たちが仲間を呼ぶというのが、本当の映像村の理想になります」と将来を見据えています。

**交流することで地区が元気に**

この中山地区で生まれ育ち、今も暮らしている西岡さんは、過去の繁栄と、少子・高齢化が進む地区の現状をずっと肌で感じてきました。「安田町多目的交流センターは映像村や大学、民間の介護サービス事業所が入り、様々な世代と地域住民の交流が期待できます。ここを足掛かりに、中山地区を元気にしたいですね」と話します。



ドミニトリー(簡易宿泊)や浴室、シャワーなどもある。

安田町多目的交流センターなかやま  
住／安田町大字正弘1532番地 電／0887-30-1750

# 安田の ミライ

## 安田町中山地区、移動販売の取り組み

Aコープ中山が閉店し、移動販売も終了になりました。

そこで、その後を継いだのが輝るぼーと安田「土佐の元気市」。その取り組みをご紹介します。

生活に必要なものを持つて  
回ります



移動販売車に商品の積み込みをする竹村さん。天候が荒れた翌日の山道には枝葉が落ちていたり、小木が倒れかかることもあるので、運転には細心の注意を払っているそうです。

以前から安田地区の移動販売をしていた輝るぼーと安田「土佐の元気市」が、2022(令和4)年3月末のAコープ中山の閉店および移動販売の終了に伴い、それを引き継ぐ形で、4月から中山地区の移動販売を週3日(月曜、火曜、金曜)の午前中に行っています。この取り組み

について代表の小松美喜さんと、移動販売を担当している竹村弘明さんに話を伺いました。

小松さんは、「これまで安田地区で移動販売してきた経験を活かしながら、従来の生鮮食品や生活用品をはじめ、お惣菜やパン、弁当など輝るぼーとで取り扱っている商品を揃えています」と言います。

竹村さんは朝8時に出勤後すぐに移動販売(保冷)車へ商品を積み込

み。人気があるお刺身などは魚屋さんに仕入れに行くそうです。「中山間地域になるほどお刺身など生鮮食品が喜ばれますね。この移動販売は集会所だけではなく、個人宅前まで行きます。夏の季節は工夫を重ねてアイスクリームをお持ちしました」。



代表の小松美喜さん(右)と、  
移動販売担当の竹村弘明さん。

この地区を回っていて実感するのが、移動手段がなかつたり、歩行が厳しい状態で、自力で買い物に行けない高齢者が多くいること。だからこそご要望に添えるよう、品揃えを充実させている竹村さん。最近では必要なものを伝えてくれたり、電話もかかってくるようになつたと話します。

### 住み慣れた土地で暮らすために

小松さんに今後のことを聞くと、「安田・中山地区で移動販売をはじめて、皆さんに喜んでもらえるようになりました。その反面、安田地区ではここ何年かでお店に来られなくて移動販売を利用する高齢の方が多くなったことも実感します。

移動販売  
中山地区／週3日  
(月曜、火曜、金曜)  
の午前中



ご注文や相談、問合せなどは

<移動販売専用連絡先>  
090-2781-4038 迄  
受付時間／8:30～18:00  
休／第3水曜

輝るぼーと安田 土佐の元気市  
住／安田町大字安田1716番地6  
電／0887-38-3320  
営／8:30～18:00 休／第3水曜

# 地元スーパーの役割を担う

店舗改装、営業時間延長、品揃え充実、新メニュー。

地域住民のため、地域活性化のため、

「味工房じねん」が新たなステップに進みます。



火曜日、金曜日の限定メニューとなる山芋コロッケとからあげのミックス定食(850円)。

中山地区の食の魅力がここに  
食堂も火曜・金曜限定で山芋コロッケ定食やからあげ定食、両方が味わえるミックス定食が誕生。また1年を通じて鮎の塩焼き定食がメニューに加わりました。この山芋コロッケ、急速冷凍した天然鮎、鮎の干しはお土産としても販売しています。「以前から山菜工房が地元の特産品をつくりたいと、山芋コロッケを試作していました。試しにイベントで販売してみると好評だったので、今回のメニューになりました。私も日本一だと思う安田川の天然鮎を『干物にしたら』とアドバイスして貰ったのは町の職員さん。それを東

## 中山地区の食の魅力がここに

京で販売すると大好評で、今でも県外から注文が来ます」と竹内さん。中山地区の住民が作るお弁当、田舎寿司、野菜などの販売を通じて、少しでも住民が潤ってくれ元気になつてくれたら嬉しいという彼女やスタッフ。中山地区的魅力が詰まつた新生・味工房じねんへ、ぜひお立ち寄りください。

**味工房じねん**  
住／安田町大字正弘566番地  
電／0887-39-2366  
営／9:00～17:00  
休／第3木曜、年始



味工房じねんの皆さん。左から武本襟香さん、代表の竹内幸恵さん、小松智草さん

## 生鮮食品から日用雑貨まで

安田町から馬路村に向かう県道12号沿い、中山地区に「味工房じねん」があります。2009(平成21)年からは、地元の女性グループ「ながやま山菜工房」が指定管理者として運営をはじめ、地域住民、農産物等の生産者に元気を与え、馬路村をはじめとする近隣市町村民や旅行者も利用するお店です。そして2022(令和4)年4月から営業時間が午後5時まで延長。店舗面積の

約半分を改装するなど、新たな取り組みをはじめています。今年の3月末で近隣にあつた「Aコープ中山」が閉店。中山地区で生なるという状況になり、それを力ぱーするため、これまでの地元野菜やお弁当、特産品などに加えて、生鮮食品や調味料、菓子類、カツブ麺、洗剤、シャンプー、たばこなど日用品も販売しています。代表の竹内幸恵さんは、「これまで以上に地域住民の方が来やすくなるよう、地元スーパーという役割を担います。夕方に散歩がてら顔を出しててくれる常連さんもいます(笑)」と話します。



# 中里女性部の皆さん

## ニンニクと手づくり麦味噌



左から清岡美恵さん、三谷美穂さん、上総二三さん。

安田町で焼肉のたれといえば「中里の味 焼肉のたれ」。すでに90年以上から中里女性部が作り、うまみ調理料は使わず、ニンニクと麦味噌の素材が前面に出た、こつたりと濃厚な味は、町内外に根強いファンがいます。9月のある日、中里拓心会館(集会所)で作業をしている現場におじゃましました。

当日は女性部のよりどころになっている三谷美穂さんを含む3人のスタッフ。ときぱきと手を動かしながら、会話が途切れない明るい雰囲におじゃました。

ニンニクは大粒で白く艶があり、独自のいい香りが室内に漂います。味工房じねんの作業所を借りて仕込み麦味噌も女性部の手づくりです。自家製の麦味噌、リンゴの角切りで下処理の大変さ、仕込みから管理まで一貫して行う麦味噌に、地域への愛情を感じます。



ニンニクの香りと濃厚さで、食欲がそそられます。

# 中里自慢、焼肉のたれ

## 肉、野菜に万能なたれ

このたれの素材は醤油、ニンニク、麦味噌、リンゴをベースに、炒り胡麻や一味、味醂などの調味料が入りま

す。それらをミキサーでペーストにして、大鍋に移します。決まった量になれば、一度沸かします。このシンプルな材料、工程でありながら「市販のたれには材料やうまみ調味料など色々なものが入っていると思いますが、うちらはシンプルな材料で濃厚。皆さんに喜んでいただいているます」と三谷さん。現在は注文によつています。

「中里の味 焼肉のたれ」は新しいパッケージとなつて、味工房じねん、土佐の元氣市で販売しています。

中里女性部の愛情あふれる自家製のニンニクと麦味噌をベースにしたお肉、野菜炒め等万能なたれをご賞味ください。



「中里の味 焼肉のたれ」は甘口と辛口の2種類、サイズも小(300ml)450円、大(900ml)1,800円があります。味工房じねんと、輝るばーと安田「土佐の元氣市」で販売しています。

スタッフの上総二三さんは、「地域





「お尻の部分がボコボコになっていると、ストレスがかかって甘くなっていますね」と、おいしいみかんの見分け方を教えてもらいました。



部さんは「肥えた土壌であり、適度に水はけが良いんです。やっぱり水が少ない方がみかんにストレスを与えることになり、果実が甘くなっています」と話します。畠を高くして水はけを良くするなどの工夫をしました。皮が薄く剥ぎやすく、本当に甘い。それでいて酸味もしつかりがあるので味が濃く感じ、インパクトがありました。

10月上旬の取材なので甘さはこれか



晴れが続いても、雨が続いても、台風が来ても、何をおいてもみかんのことを最初に考えなくてはいけないという服部さん。  
その誠実な人柄が伝わる取材でした。

## みかんへの愛情がとまらない

安田町東島にある服部農園の広大なみかん畠。  
恵まれた自然環境と土壌を生かした  
果実の甘みと酸味にインパクトがありました。



ら、と勝手な想像が覆されました。

### 畠の手入れと 鳥獣対策に追われる

服部さんが愛情込めて作る「極早生みかん」の収穫・出荷は10月上旬から約1カ月。少しお休みがあつて11月下旬から「早生みかん」が年末頃まで。そして2月中旬から土佐文旦となります。「3月から10月はじめぐらいまでは毎日畠に通つて、木の手入れをはじめ、最近

要で7月から8月の暑い季節に、従業員さんと一緒にやっています」  
服部農園のみかんは高知青果市場への出荷を中心に、安田町のふるさと納税の返礼品、輝るぼーと安田「土佐の元氣市」、地場産品直売所神峯、田野町にある集荷所前などでお買い求めいただけます。



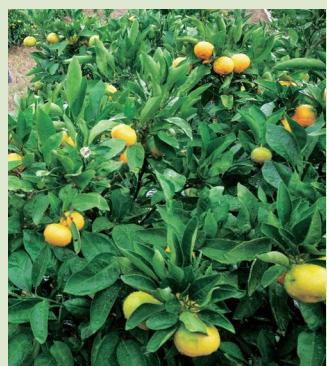
服部農園の最新情報は  
ツイッターから



みかんにストレスを  
意識して与える

安田町東島、中芸広域体育館から車で数分山沿いの道を進んでいくと、服部農園が管理するみかん畠が広がります。三代目となる服部栄文さんは静岡県出身ですが婿養子として安田町に来て15年が経ちます。実は実家も静岡でみかん農家を営むという縁もあります。

香南市山北でみかん農家をしていた祖父が、安田でこの場所を見つけ開拓。みかん畠にしたのが約50年前のことです。日当たりが良く、温暖な気候であり、台風が来ても風あたりに恵まれていて、それほど強風にはならない場所で、みかん栽培には適した土地だそうです。服



# あんたろう奮戦記！

安田町イメージキャラクター「あんたろう」は、  
今日も全国に出没して、町をPRしています！



あんたろう プロフィール

出身：清流・安田川

種別：アユ

誕生日：6月1日（鮎漁解禁日）

性別：♂(オス)

紹介：ぽっこりお腹がチャームポイント。のんびりやで食いしん坊で  
お酒が大好き。安田町のおいしい・楽しいをたくさん的人に知  
ってもらいたいという思いでPR活動をしています。

ついでー



いんすたぐらむ



安田朗の  
Youtubeチャンネルが  
ついにスタート！



安田朗の衣装はたくさん！お出かけするたびに、どのおばんつにしようか悩んで選ぶこだわりやさんです。



## 新しい自転車も登場！ 町内をレンタサイクルで楽しもう

安田駅に隣接している「安田町文化センター」(一般・子ども向け)と、役場近くにある「安田まちなみ交流館・和」(上級者向け)では、周遊観光にもってこいのレンタサイクルを貸し出しています。

貸出時間は9:00～17:00、無料でご利用できます。ぜひご利用ください。

### 安田町文化センター

住／安田町大字西島40番地2 電／0887-38-5711

休／12/30～1/2

### 安田まちなみ交流館・和

住／安田町大字安田1674番地1 電／0887-38-3047

休／火曜(祝日の場合は翌営業日)、12/28～1/2

## お試し滞在施設のご案内



本町では移住促進による人口増加に取り組んでおり、移住を希望されている方に本町での生活を実際に体験していただくため、一時的な滞在施設を整備しています。使用をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

住／安田町大字安田1649番地1  
設備等／4LDK(生活家電、Wi-Fi有り)  
使用料／7日以内5,000円、  
14日以内10,000円、1月まで20,000円  
駐車場有り

町地域創生課  
電／0887-38-6713



## 安田町役場 地域創生課

〒781-6421

高知県安芸郡安田町大字安田1850番地

TEL0887-38-6713 FAX0887-38-6723

E-mail sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

ホームページ <https://www.town.yasuda.kochi.jp/>

